

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



監査
平木ひろみ(中央区)